

四半期報告書

(第36期第2四半期)

自 2021年2月1日

至 2021年4月30日

オンラインフホルディング株式会社

(E05277)

目 次

	頁
表 紙	1
第一部 企業情報	
第1 企業の概況	
1 主要な経営指標等の推移	2
2 事業の内容	2
第2 事業の状況	
1 事業等のリスク	3
2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	3
3 経営上の重要な契約等	4
第3 提出会社の状況	
1 株式等の状況	
(1) 株式の総数等	5
(2) 新株予約権等の状況	5
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	5
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	5
(5) 大株主の状況	6
(6) 議決権の状況	7
2 役員の状況	7
第4 経理の状況	8
1 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
四半期連結損益計算書	11
四半期連結包括利益計算書	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
2 その他	19
第二部 提出会社の保証会社等の情報	20
 [四半期レビュー報告書]	 巻末

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2021年6月14日
【四半期会計期間】	第36期第2四半期（自 2021年2月1日 至 2021年4月30日）
【会社名】	ロングライフホールディング株式会社
【英訳名】	LONGLIFE HOLDING Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小嶋 ひろみ
【本店の所在の場所】	大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル25階
【電話番号】	(06) 6373-9191
【事務連絡者氏名】	常務取締役 大麻 良太
【最寄りの連絡場所】	大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル25階
【電話番号】	(06) 6373-9191
【事務連絡者氏名】	常務取締役 大麻 良太
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第35期 第2四半期連結 累計期間	第36期 第2四半期連結 累計期間	第35期
会計期間	自2019年 11月1日 至2020年 4月30日	自2020年 11月1日 至2021年 4月30日	自2019年 11月1日 至2020年 10月31日
売上高 (千円)	6,406,551	6,139,572	13,230,064
経常利益又は経常損失 (△) (千円)	△235,553	110,194	10,622
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失(△) (千円)	△272,939	44,620	△89,279
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	△302,719	34,879	△110,643
純資産額 (千円)	2,386,638	2,534,027	2,578,713
総資産額 (千円)	18,210,901	18,304,244	19,675,889
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期(当期)純損失(△) (円)	△26.31	4.29	△8.61
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	13.1	13.8	13.1
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△333,390	△6,997	586,726
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△719,233	△158,331	△738,941
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	962,198	△924,447	1,873,836
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	910,891	1,632,303	2,722,770

回次	第35期 第2四半期連結 会計期間	第36期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自2020年 2月1日 至2020年 4月30日	自2021年 2月1日 至2021年 4月30日
1株当たり四半期純損失(△) (円)	△7.62	△0.25

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度は1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第2四半期連結累計期間は潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が第3波、第4波として感染急拡大する中、緊急事態宣言が二度も発出されるなど、先行きに不安を抱える状況となっております。

介護業界におきましても、高齢者や障がい者の方々を対象としている業界であるため、感染拡大防止を最優先とした事業活動の制限が継続している厳しい状況となっております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、コロナ禍において進みつつある価値観の変化への対応及び業績回復のため、役員体制の刷新や営業体制の強化を行い、収益性の向上を図りました。全社を挙げての営業活動が実を結び、当第2四半期連結累計期間の売上高は61億39百万円（前年同期比4.2%減）と減収となりましたが、前期末に譲渡した福祉用具事業を除くベースでは前年同期比3億19百万円の増収（前年同期比5.5%増）であり、営業利益は12百万円（前年同期は1億60百万円の営業損失）となり、前年同期比1億72百万円の改善となりました。さらに新型コロナウイルス感染症対策等に対する助成金収入等の計上により、経常利益は1億10百万円（前年同期は2億35百万円の経常損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は44百万円（前年同期は2億72百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①ホーム介護事業

ホーム介護事業につきましては、前期に新たな有料老人ホーム3拠点を開設した一方で、2021年1月には「ロングライフみなせ（大阪府三島郡）」を建物賃貸借契約の満了に伴い事業運営を終了した結果、当第2四半期連結会計期間末におけるホーム数は23ホームで居室総数は1,041室となっております。引き続きホーム介護事業の運営体制の効率アップ並びにブランディング活動等の営業強化により、入居率の引き上げに注力しております。

ホーム介護事業の売上高は25億68百万円（前年同期比11.3%増）、経常利益は97百万円（前年同期は2億18百万円の経常損失）となりました。

②在宅介護事業

在宅介護事業につきましては、当第2四半期連結会計期間末におけるサービス数は121サービスとなっております。各事業所職員の育成充実と、訪問介護における特定事業所加算が適用される事業所を増加させ、サービスの質の向上を図り、事業拠点の収益力アップに努めております。

在宅介護事業の売上高は29億9百万円（前年同期比2.6%増）、経常利益は1億46百万円（前年同期比693.7%増）となりました。

③フード事業

フード事業につきましては、主に当社グループが運営する有料老人ホーム等に食事を提供しております。また、新規事業への取組みやオリジナル商品の販売等によるグループ外への営業強化に注力することで、ブランド力の向上に努めております。

フード事業の売上高は35百万円（前年同期比33.7%増）、経常利益は1百万円（前年同期比74.8%減）となりました。

④リゾート事業

リゾート事業につきましては、函館、箱根、由布院、石垣島の全国4拠点において会員制リゾートホテルの運営を行っており、また、新たにブライダル事業者との提携を行い、サービスの向上と新規会員の獲得に注力しております。

リゾート事業の売上高は1億18百万円（前年同期比43.9%増）、経常損失は1億23百万円（前年同期は1億81百万円の経常損失）となりました。

⑤その他

その他につきましては、調剤薬局事業及び医療関連事業を行う連結子会社の「ロングライフメディカル株式会社」、国内外企業への投資及びコンサルタント事業を行う連結子会社の「ロングライフグローバルコンサルタント株式会社」及び「朗楽(青島)頤養運営管理有限公司」の3社により構成されております。

当セグメントの売上高は5億7百万円（前年同期比10.4%減）、経常利益は2百万円（前年同期比79.2%減）となりました。

(2) 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億71百万円減少し、183億4百万円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末より12億17百万円減少し、46億87百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が10億97百万円、受取手形及び売掛金が43百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末より1億54百万円減少し、136億16百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産が93百万円減少したことによるものであります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末より15億49百万円減少し、73億70百万円となりました。その主な要因は、短期借入金が12億円、未払法人税等が2億66百万円、前受金が1億97百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末より2億22百万円増加し、83億99百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が2億1百万円増加したことによるものであります。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ44百万円減少し、25億34百万円となり、自己資本比率は13.8%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ10億90百万円減少し、16億32百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は6百万円の減少（前第2四半期連結累計期間は3億33百万円の資金減少）となりました。その収入要因は、税金等調整前四半期純利益1億10百万円、減価償却費3億1百万円、未収消費税等の減少額80百万円などであり、支出要因は、前受金の減少額1億97百万円、法人税等の支払額3億22百万円などであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は1億58百万円の減少（前第2四半期連結累計期間は7億19百万円の資金減少）となりました。その支出要因は、有形固定資産の取得による支出1億77百万円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は9億24百万円の減少（前第2四半期連結累計期間は9億62百万円の資金増加）となりました。その収入要因は、長期借入れによる収入10億円などであり、支出要因は、短期借入金の純減少額12億円、長期借入金の返済による支出5億97百万円などであります。

(4) 会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定

前事業年度の有価証券報告書に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」中の会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について重要な変更はありません。

(5) 財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針について重要な変更はありません。

(6) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更及び新たに発生した課題はありません。

(7) 研究開発活動

該当事項はありません。

(8) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備について著しい変動及び新たな計画はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,200,000
計	25,200,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2021年4月30日)	提出日現在発行数(株) (2021年6月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	11,190,400	11,190,400	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	11,190,400	11,190,400	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

①【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

②【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2021年2月1日～ 2021年4月30日	—	11,190,400	—	100,000	—	—

(5) 【大株主の状況】

2021年4月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式（自己株式を除く。）の総数 に対する所有株式数の割合（%）
遠藤 正一	堺市西区	1,363,300	13.19
北村 政美	堺市西区	1,055,500	10.22
ロングライフ総研株式会社	堺市西区浜寺諏訪森町西2丁目150番地	835,600	8.09
ロングライフ取引先持株会	大阪市北区中崎西2丁目4-12 梅田センタービル25階	539,400	5.22
ロングライフホールディング従業員持株会	大阪市北区中崎西2丁目4-12 梅田センタービル25階	241,700	2.34
株式会社関西みらい銀行	大阪市中央区備後町2丁目2-1	200,000	1.94
久保 賢司	高知県高知市	123,500	1.20
小嶋 ひろみ	大阪市城東区	105,700	1.02
株式会社紀陽銀行	和歌山県和歌山市本町1丁目35番地	100,000	0.97
住友生命保険相互会社	東京都中央区築地7丁目18-24	100,000	0.97
計	—	4,664,700	45.15

(注) 上記のほか、自己株式が858,105株あります。

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

2021年4月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 858,100	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 10,328,400	103,284	—
単元未満株式	普通株式 3,900	—	—
発行済株式総数	11,190,400	—	—
総株主の議決権	—	103,284	—

(注) 「完全議決権株式 (その他)」欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,400株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数14個が含まれております。

② 【自己株式等】

2021年4月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数 (株)	他人名義所有株式数 (株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%)
(自己保有株式) ロングライフホールディング株式会社	大阪市北区中崎西2丁目 4-12 梅田センタービル25階	858,100	—	858,100	7.67
計	—	858,100	—	858,100	7.67

(注) 当該株式数は、上記①「発行済株式」の「完全議決権株式 (その他)」の欄に含まれております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2021年2月1日から2021年4月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年11月1日から2021年4月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,965,042	1,867,384
受取手形及び売掛金	1,460,761	1,416,986
たな卸資産	※1 66,424	※1 81,194
預け金	※2 994,741	※2 991,269
その他	418,285	330,948
流動資産合計	5,905,256	4,687,783
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,891,800	11,947,411
減価償却累計額	△3,492,812	△3,653,298
建物及び構築物（純額）	8,398,988	8,294,112
車両運搬具	13,158	13,845
減価償却累計額	△10,703	△11,215
車両運搬具（純額）	2,454	2,630
工具、器具及び備品	831,582	829,909
減価償却累計額	△566,999	△573,783
工具、器具及び備品（純額）	264,583	256,126
土地	3,786,857	3,788,129
リース資産	294,625	313,919
減価償却累計額	△154,957	△155,558
リース資産（純額）	139,668	158,361
有形固定資産合計	12,592,551	12,499,360
無形固定資産		
のれん	22,029	18,457
その他	70,338	65,282
無形固定資産合計	92,367	83,740
投資その他の資産		
投資有価証券	46,440	23,496
関係会社株式	5,000	5,000
差入保証金	701,698	692,893
長期前払費用	40,964	38,743
繰延税金資産	38,435	35,799
その他	253,173	237,428
投資その他の資産合計	1,085,713	1,033,360
固定資産合計	13,770,632	13,616,461
資産合計	19,675,889	18,304,244

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	98,067	108,085
短期借入金	1,200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	853,609	1,054,863
リース債務	29,937	35,541
未払金	306,155	321,794
未払費用	667,705	671,005
未払法人税等	340,995	74,970
前受金	5,033,125	4,835,158
賞与引当金	104,408	137,668
契約解除引当金	21,991	9,797
その他	264,132	121,355
流動負債合計	8,920,127	7,370,241
固定負債		
長期借入金	7,792,301	7,994,004
リース債務	123,261	138,018
繰延税金負債	22,047	22,440
退職給付に係る負債	119,815	130,297
資産除去債務	109,951	104,740
その他	9,671	10,475
固定負債合計	8,177,048	8,399,975
負債合計	17,097,175	15,770,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	10,982	9,736
利益剰余金	2,673,080	2,655,493
自己株式	△213,273	△229,385
株主資本合計	2,570,789	2,535,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,407	368
為替換算調整勘定	△1,483	△2,185
その他の包括利益累計額合計	7,923	△1,816
純資産合計	2,578,713	2,534,027
負債純資産合計	19,675,889	18,304,244

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
売上高	6,406,551	6,139,572
売上原価	5,096,468	4,874,497
売上総利益	1,310,083	1,265,074
販売費及び一般管理費	※1 1,470,254	※1 1,252,832
営業利益又は営業損失(△)	△160,170	12,242
営業外収益		
受取利息	215	31
受取配当金	757	386
助成金収入	—	164,033
その他	9,086	13,399
営業外収益合計	10,058	177,850
営業外費用		
支払利息	70,473	55,555
支払手数料	9,433	14,398
その他	5,534	9,943
営業外費用合計	85,440	79,898
経常利益又は経常損失(△)	△235,553	110,194
特別利益		
投資有価証券売却益	20,285	14,710
資産除去債務戻入益	—	5,907
賃貸借契約変更益	27,223	—
特別利益合計	47,508	20,617
特別損失		
賃貸借契約解約損	5,697	19,606
固定資産除却損	1,694	822
特別損失合計	7,392	20,428
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△195,436	110,383
法人税、住民税及び事業税	70,542	57,960
法人税等調整額	6,960	7,802
法人税等合計	77,503	65,763
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△272,939	44,620
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△272,939	44,620

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△272,939	44,620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,713	△9,038
為替換算調整勘定	△66	△701
その他の包括利益合計	△29,779	△9,740
四半期包括利益	△302,719	34,879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△302,719	34,879
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△195,436	110,383
減価償却費	257,706	301,449
のれん償却額	3,572	3,572
長期前払費用償却額	6,794	10,825
金利スワップ評価損益(△は益)	△1,715	△1,836
貸倒損失	7,556	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,264	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△32,469	33,259
契約解除引当金の増減額(△は減少)	△1,975	△12,194
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9,310	10,481
受取利息及び受取配当金	△972	△417
支払利息	70,473	55,555
助成金収入	—	△164,033
有形固定資産除却損	1,694	822
投資有価証券売却損益(△は益)	△20,285	△14,710
賃貸借契約変更益	△27,223	—
賃貸借契約解約損	5,697	19,606
支払手数料	9,433	14,398
株式報酬費用	23,187	21,267
売上債権の増減額(△は増加)	72,484	43,772
たな卸資産の増減額(△は増加)	10,871	△14,769
預け金の増減額(△は増加)	63,188	3,471
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,938	10,018
未払金の増減額(△は減少)	△8,593	57,577
前受金の増減額(△は減少)	△84,032	△197,966
預り金の増減額(△は減少)	△581	△85,867
繰延消費税等の増減額(△は増加)	△165,748	15,792
未収消費税等の増減額(△は増加)	△85,371	80,259
未払消費税等の増減額(△は減少)	△36,806	31,841
その他	2,171	554
小計	△138,272	333,114
利息及び配当金の受取額	972	417
利息の支払額	△69,814	△57,500
法人税等の支払額	△124,478	△322,524
助成金の受取額	—	85,261
和解金の支払額	—	△29,000
その他の営業支出	△1,797	△16,765
営業活動によるキャッシュ・フロー	△333,390	△6,997

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,046	△100,055
定期預金の払戻による収入	100,038	100,046
投資有価証券の取得による支出	△537	△617
投資有価証券の売却による収入	21,340	24,460
有形固定資産の取得による支出	△731,168	△177,698
無形固定資産の取得による支出	△13,417	△2,400
敷金及び保証金の差入による支出	△5,202	△2,755
敷金及び保証金の回収による収入	19,216	11,559
長期前払費用の取得による支出	△9,488	△13,307
その他	32	2,435
投資活動によるキャッシュ・フロー	△719,233	△158,331
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	700,000	△1,200,000
長期借入れによる収入	587,500	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△227,130	△597,043
リース債務の返済による支出	△5,731	△18,026
制限付預金の払戻による収入	—	7,200
配当金の支払額	△83,006	△62,207
自己株式の取得による支出	—	△39,970
支払手数料の支払額	△9,433	△14,398
財務活動によるキャッシュ・フロー	962,198	△924,447
現金及び現金同等物に係る換算差額	△66	△690
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△90,491	△1,090,467
現金及び現金同等物の期首残高	1,001,382	2,722,770
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 910,891	※ 1,632,303

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を現時点で合理的に算出することは困難であります。外部の情報等やコロナ禍での当社グループの対応実績を踏まえて当該影響は限定的であると仮定し、固定資産の減損損失や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを実施しております。

しかしながら、本感染症による影響は不確定要素が多く、今後、長期的な景気悪化等が生じる場合には、当社グループの業績が大きな影響を受ける可能性があります。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 たな卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
商品	48,615千円	53,408千円
貯蔵品	17,808	27,785

※2 預け金の内訳は次のとおりであります。

前連結会計年度 (2020年10月31日)

預け金994,701千円のうち206,810千円は、株式会社レーサムとの有料老人ホーム「ロングライフ神戸青谷」の賃貸借契約、787,890千円は、株式会社朝日信託との入居一時金保全信託契約に関わるものであります。

当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)

預け金991,269千円のうち203,329千円は、株式会社レーサムとの有料老人ホーム「ロングライフ神戸青谷」の賃貸借契約、787,890千円は、株式会社朝日信託との入居一時金保全信託契約に関わるものであります。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費の主なもの

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
広告宣伝費	209,414千円	118,113千円
給与手当	460,174	401,310
役員報酬	102,812	95,392
賞与引当金繰入額	19,853	24,625

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
現金及び預金勘定	1,153,155千円	1,867,384千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△235,063	△235,080
制限付預金	△7,200	—
現金及び現金同等物	910,891	1,632,303

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年12月13日 取締役会	普通株式	83,006	8.0	2019年10月31日	2020年1月15日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年12月14日 取締役会	普通株式	62,207	6.0	2020年10月31日	2021年1月14日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ホーム 介護	在宅介護	福祉用具	フード	リゾート	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,308,421	2,836,272	586,727	26,776	82,110	5,840,309	566,242	6,406,551
セグメント間の内部 売上高又は振替高	73	2,502	47,212	307,451	712	357,952	8,452	366,405
計	2,308,495	2,838,774	633,940	334,228	82,823	6,198,262	574,695	6,772,957
セグメント利益又は損 失(△)	△218,489	18,451	10,566	6,285	△181,897	△365,082	13,543	△351,538

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局事業、医療関連事業、投資及びコンサルタント事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△365,082
「その他」の区分の利益	13,543
未実現利益の調整額	71
全社損益(注1)	115,614
その他(注2)	300
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△235,553

(注1) 全社損益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料収入及びグループ管理に係る費用であります。

(注2) その他は、主に報告セグメントに帰属しない会社(持株会社である当社)に対する取引高の消去であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2020年11月1日 至 2021年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ホーム 介護	在宅介護	フード	リゾート	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,568,180	2,909,887	35,809	118,170	5,632,047	507,524	6,139,572
セグメント間の内部 売上高又は振替高	545	4,133	299,070	24,610	328,359	45,702	374,062
計	2,568,726	2,914,020	334,880	142,780	5,960,406	553,227	6,513,634
セグメント利益又は損 失(△)	97,009	146,456	1,581	△123,702	121,345	2,813	124,159

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局事業、医療関連事業、投資及びコンサルタント事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	121,345
「その他」の区分の利益	2,813
未実現利益の調整額	71
全社損益(注1)	10,735
その他(注2)	△24,771
四半期連結損益計算書の経常利益	110,194

(注1) 全社損益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料収入及びグループ管理に係る費用であります。

(注2) その他は、主に報告セグメントに帰属しない会社（持株会社である当社）に対する取引高の消去であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「福祉用具事業」を担当していたカシダス株式会社を前第4四半期連結会計期間において連結の範囲から除外したことに伴い、第1四半期連結累計期間より「福祉用具事業」を報告セグメントから除外しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失(△)	△26.31円	4.29円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)(千円)	△272,939	44,620
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純損失(△)(千円)	△272,939	44,620
普通株式の期中平均株式数(株)	10,373,631	10,398,868

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、前第2四半期連結累計期間は1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第2四半期連結累計期間は潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年6月11日

ロングライフホールディング株式会社

取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

大阪事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 坂本 潤 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 古田 賢司 印

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているロングライフホールディング株式会社の2020年11月1日から2021年10月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2021年2月1日から2021年4月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年11月1日から2021年4月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ロングライフホールディング株式会社及び連結子会社の2021年4月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2021年6月14日
【会社名】	ロングライフホールディング株式会社
【英訳名】	LONGLIFE HOLDING Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小嶋 ひろみ
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル25階
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長 小嶋ひろみは、当社の第36期第2四半期（自2021年2月1日 至2021年4月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。